Claude Code講座の練習として作った提案です。
クラウドワークス アカデミーからの依頼ではなく、公式の資料でもありません。講座ページなど、公開されている情報だけを見て作りました。

いまのサイトで分かったこと

講座ページ（https://academy.crowdworks.jp/course/ai/claude-code）を、申し込みを考える人の目で読みました。確認日は2026年11月25日です。

講座の内容（ページに書かれていること）

対象	プログラミング未経験の非エンジニア（WindowsまたはMac、Claudeの有料プランのアカウントが必要）
学ぶこと	3週間。デスクトップアプリの導入から、スライド、Web改善提案とHTML試作、ポートフォリオサイトの作成・公開、ナレッジの整理まで
形式	動画を自分のペースで視聴。課題の提出とメンターへの質問はSlack
価格・期間	39,600円（税込）。申込ボタンは「この講座に申し込む」。申込締切は2027年1月28日、2月期の受講期間は2027年2月2日〜2月22日と表示
ページの並び	選ばれる理由 → 週別カリキュラム → 講師 → 受講生の声（外部noteへのリンク3件） → 運営会社 → 受講の流れ → FAQ（6問）。無料個別相談（30分・オンライン）のボタンあり

よいところ

- コードを書かない人に絞った設計で、誰向けかが分かりやすい
- 3週間で、スライド・note記事・公開サイトという成果物が手元に残る
- 価格が明示されている
- Slackで質問でき、運営は大手のクラウドソーシング

ページで確認できなかったこと

- 動画の総時間、返金の条件、支払い方法、割引の有無
- Claudeの有料プランの料金の目安
- 受講生の声の中身（外部noteへ移動しないと分からない）
- 「登録者790万人以上」「受講者1万人以上」の根拠（運営側の自己申告）
- 申込が受付中かどうかの表示（申込ボタンと締切の記載はあるが、受付状況の表記は確認できず）

この資料の材料

講座ページと、Webで公開されている情報だけを使いました。運営の方へのヒアリングや、内部の情報は使っていません。ページに書かれていないことは「確認できなかった」と書き、実際に有るか無いかは断定していません。

注記：ページの内容は、取得時に要約を経ており、原文との照合はしていません。金額・期間などの数字は、公式ページで最終確認が必要です。「確認できなかった」は、ページ上で見つけられなかったという意味で、実際に無いとは限りません。

似たサービスとの違い

Claude Codeを学べるサービスを、Webで8件確認しました（確認日：2026年11月25日）。見込み顧客が比べるときの見え方で整理しています。

サービス	価格	時間・形式	日本語	ページの見せ方・ひとこと
本講座	**39,600円**	**3週間・動画＋Slack**	○	**非エンジニア向け。成果物が残る。動画時間・返金などは確認できず**
schoo schoo.jp/course/9269	確認できず	60分・オンライン動画	○	講師の実績と、おためし受講のボタンあり。料金は講座ページで確認できず
Inflearn inflearn.com/ja/course/claude-code-in-pract	14,616円（25%OFF表示、割引前19,486円）	約15時間・動画	○	無料視聴あり。受講生97名、レビュー2件を表示
SAMURAI ENGINEER coeteco.jp/brand/samurai-sejuku/courses/2428	入会金99,000円＋受講料363,000〜594,000円（税込）	8・12・16週・オンライン	○	期間ごとに料金を表示
Zenn無料書籍 zenn.dev/tmasuyama1114/books/claude_code_basic	無料	オンライン書籍（約46チャプター）	○	質問サポートは確認できず
Claude Academy（公式） academy.claude.com/courses/claude-code-101	確認できず	約1.5時間・12レッスン	×	公式。英語のみ
DataCamp datacamp.com/courses/claude-code-101	無料で受講可と表示	約3時間・演習付き	×	評価4.8（2,561件）を表示
Zero To Mastery zerotomastery.io/courses/claude-code-for-beginners/	$149（単品）〜	約5時間	×	30日間の返金保証と、複数の料金プラン。期間限定の割引表示あり
Academind pro.academind.com/courses/2935558	$69（単独）〜	約3.5時間	×	買い切りと、会員（月$25）がある

他にあって、本講座で確認できないもの

- 無料で中身を試せる手段（Inflearn、DataCamp。schooは「おためし受講」のボタン）
- 動画の総時間・講義数の明示
- 返金保証（Zero To Mastery）
- ページ内で見える評価・レビュー
- 修了証（Inflearn）
- 複数の料金プラン

本講座にしか無いもの

- 日本語で、非エンジニアに絞った設計（確認した海外の講座はすべて英語）
- 約4万円という、無料教材と数十万円のスクールの間の価格帯
- スライド・note・公開サイトと、成果物がはっきりしている
- Slackでの課題提出と質問（低価格帯で伴走がある。Inflearn・Zennでは確認できず）
- クラウドワークスの案件につなげる設計（他社では確認できず）

注記：金額・件数は、2026年11月25日に確認した表示です。期間限定の割引や、ページ全体の情報が混ざる場合があるため、公式での最終確認が必要です。DMM生成AI CAMP・RUNTEQなど記事の二次情報のみで確認したものは、ここには入れていません。

案2 申し込む前に知りたい情報を、一か所にまとめる

効果：大　運営の判断が必要　選んだ改善案 1/3

課題

動画の総時間、返金の条件、支払い方法、割引の有無が、ページで確認できません。ページでは39,600円（税込）とだけ分かり、割引があるのかは確認できません。（私が受けたときは、募集前の生配信でクーポンコードをもらえましたが、ページには載っていませんでした。）Claudeの有料プランが別に必要な点は、FAQと利用環境の欄に書かれていますが、料金の目安は見当たりません。他社では、時間や返金を先に示しているところがあります。

変えること

- 「受講前に知っておきたいこと」という欄を、申込ボタンの近くに設ける
- 載せる項目は、動画の総時間、受講期間と教材の利用期限、費用（講座料金・Claudeの有料プランが別途必要なこと）、支払い方法、返金や割引の考え方、必要な環境
- 運営の方に確認する項目の一覧は、私が先に作る

期待できる変化

申し込む前の不安が減り、判断しやすくなります。問い合わせや個別相談で毎回聞かれる質問が、減る可能性があります。申込数などの数字は約束できません。

私ができること（一部できる）

- ページの現状を読み、足りない項目を洗い出す。他社の見せ方との比較も、すでに調べてあります
- 項目の表と、文章の下書きを作る
- 理由：AIと一緒に、Wordの長文をExcelの項目に作り替え、ボタン1つで使えるマクロを作りました（チームの数人が利用）。使う人に先に相談し、途中で確認しながら進め、配布後に使う人が迷ったことはありませんでした。「迷わない形に整理する」仕事は、この経験が活きます

> **運営の方にご判断いただく点**
>
> - 返金の条件、割引の有無、支払い方法の掲載は、運営の判断で決まります。私が決めることはできません
> - 載せる事実は、運営の方からお預かりする必要があります

進め方（案）

- ①確認項目の一覧をお渡しする　②お答えをもとに、掲載の文章を下書きする　③運営の方に確認していただき、修正する

選んだ理由

効果が大きいと考えられ、足りない項目を洗い出して整理する作業が、私の経験に合うためです。ページを大きく作り変えずに始められ、最初の仕事としても取り組みやすい案です。

案1 この価格・この長さにしている理由を、ページで伝える

効果：大　運営の確認が必要　選んだ改善案 2/3

課題

ページには、この講座を「なぜこの価格・この長さにしているのか」という理由が、見当たりませんでした。たとえば次の点です。

- なぜ初級に区切っているのか（ページでは、3週間・39,600円とだけ分かります）
- どんな人に向いていて、どんな人には向かないのか
- Slackでの質問や課題の見てもらい方が、どんなものか

数十万円のスクールが多い中で、選んでもらう理由が、ページから伝わりにくくなっています。

変えること

- ページの冒頭近くに、「この講座を、この価格・この長さにしている理由」を、短い文章で載せる
- 誰に向いていて、誰には向かないかを、具体的に書く（運営の方に確認した内容で）
- Slackでの質問対応が、どんなものかを、1〜2行で添える

期待できる変化

高額なスクールとの違いが伝わり、「この講座なら安心して試せそう」と感じてもらいやすくなります。申込数などの数字は約束できません。

私ができること（一部できる）

- 運営の方にお話を聞き、内容を整理して、載せる場所の案と、文章の下書きを作る
- 理由：相手のお話を聞いて、「何が伝わっていないか」を整理することは、これまで、現場の人に相談しながら進めてきた経験の延長です
- これからの分野：文章で売る仕事（コピーライティング）は、これから経験を積む分野です。下書きを作り、運営の方に確認・修正していただく形にします

> **運営の方にご確認いただく点**
>
> - 載せる内容は、運営の方から教えていただいた、会社として出してよい内容に限ります
> - 「登録者790万人以上」などの数字には、いつの時点か、何の登録者かを添えることをおすすめします。ページの数字は運営側の自己申告で、私は確認できていません

進め方（案）

- ①載せたい内容を運営の方に選んでいただく　②文章の下書き　③確認と修正

選んだ理由

効果が大きいと考えられ、ページの小さな変更から始められるためです。理由の中身は、運営の方に教えていただく必要があります。

案10 初心者のつまずきを先回りする、準備ガイドとFAQ

効果：中 選んだ改善案 3/3 私が最も「できる」と言える案です

課題

対象は、プログラミング未経験の非エンジニアですが、ページのFAQは6問で、プログラミング知識の要否や受講環境などは書かれていますが、最初につまずきやすい点の案内は、見えにくい状態です。始める前に不安になり、申し込みを迷う人がいる可能性があります。

変えること

- 「受講前の準備チェックリスト」を作る（パソコン、アカウント、インストールの前に確認すること）
- 画面の写真つきの手順と、「よくあるつまずきと対処」を追加する
- FAQを、受講を迷う人の疑問に沿って増やす

期待できる変化

開始時のつまずきが減り、受講中の質問の負担も軽くなる可能性があります。「自分にもできそう」と思って、申し込みを検討しやすくなります。数字で約束はできません。

私ができること（できる）

- パソコンスクールで約10年（2004年～）、求職者の方にPCの基礎から応用（Office系ソフト全般）を教えた経験があります。同じ画面を見ながら進めるため、伝わらなかったことは特に感じていません（私自身の実感です）
- 以前作ったマクロは、操作をボタン1つにして、使う人が迷わない形にしました
- これらの経験を、初心者向けの手順書とFAQの作り方に、そのまま活かせます

> **正直にお伝えしたい点**
>
> - Claude Codeは、私自身が現在学習中で、仕事での利用は、これからです
> - そのため、手順の内容の正しさは、運営の方（講師・メンター）に確認していただく形にしたいです。つまずきの情報は、受講中の質問の記録をご提供いただけると、より正確になります

進め方（案）

- ①運営の方から、よくある質問・つまずきをお聞きする　②チェックリストとFAQの下書きを作る　③講師の方に確認していただき、修正する

選んだ理由

効果は「中」ですが、私の経験が最も活きる案です。小さく始められるため、最初の仕事として取り組み、進め方を見ていただく機会にもできます。

選ばなかった案の一覧

次の7案も検討しました。効果の大・中・小は、見込み顧客の目線での見立てで、確定した結果ではありません。

案	何を変えるか	課題	効果	私が担当できるか	選ばなかった理由
3	受講生の声を、ページ内に要約して載せる	声が外部noteへのリンクのみで、中身が分からない	大	一部	取材や、掲載の許可を得る作業は、これから経験を積む分野です。運営と書き手の許可が必要
4	受付状況と、締切・受講期間を、申込ボタンの近くに分かりやすく書く	申込締切（2027年1月28日）と受講期間は書かれているが、受付中かどうかの表示は確認できなかった	中	一部	申込システムの設定は、クラウドワークス側の仕組みで、これから経験を積む分野です。運営の判断も必要
5	講座の一部を、無料で試せるようにする	他社には無料視聴がある。教材の中身を試せるか確認できない	大	一部	Claude Codeの教材づくりは、これから経験を積む分野です。無料で出す範囲は、費用が絡む運営の判断
6	完成する成果物の見本を載せる	学んだ後の姿が、文章の説明だけで見えにくい	中	一部	Webサイト制作は、これから経験を積む分野です。見本には、受講生・運営の許可も必要
7	更新日と、数字の根拠を表示する	AIツールは変化が速い。数字（790万人など）は自己申告	小	できる	効果が小さいため。案1とあわせて対応できます
8	受講後に、収入につなげる道筋を見せる	ページでは、受講後に収入へつなげる道筋が確認できない	大	できない	案件データや社内の調整が必要で、副業・案件獲得は、これから経験を積む分野です。収入に関する表現は運営の判断
9	「合う／合わない」と、次の講座への道筋を載せる	誰に向いているか、受講後の道筋が、ページで見えない	中	一部	次の講座の設計・案内は、運営の事業判断。案1とあわせて検討できます

この資料のお約束

- 申込数や売上などの数字は、約束しません。効果は、見込み顧客の目線での見立てです
- 運営の判断が必要な案：案2（返金・割引）、案4（申込の仕組み）、案5（無料で出す範囲）、案8（収入に関する表現）、案9（次の講座）
- ページの内容の確認は、2026年11月25日に行いました。金額や期間は、公式ページで最終確認をお願いします

これは練習として作ったサンプルで、実際の依頼ではありません。実際の仕事でも、案2や案10のような小さな範囲から始め、運営の方に確認しながら進める形を考えています。